

タイトル：

認識しやすいスケジュール表の作成－重粒子線治療スケジューリングを例として－

アブストラクト：

人が作業を行うためのスケジューリングでは、スケジュールの効率化に加えて、作業者に理解しやすい（認識しやすい／使いやすい）スケジュールの作成が求められる。筆者らは、重粒子線治療における治療枠（予定表）作成において、医療スタッフにとって認識しやすいスケジュールの作成に注目し、週単位や2週間単位に繰り返されるといった規則性と、負荷平準化による効率性を同時に満たすことで、より多くの患者を安全に治療するスケジューラを開発している。本発表では重粒子線治療スケジューリングを例として、スケジュールがスタッフにとって使いやすくなるよう、緩い規則性を持つスケジュールを作るためのモデル化について詳しく述べる。